

# フィルタリングされたセットの作成

Almaのタイトルセットは、保存された元のクエリからさらに絞り込むためにフィルタリングすることができます。

例えば、セットをフィルタリングして、特定のサイズ（センチメートル単位）のみ、または

130フィールドを持つタイトルのみを含めることができます。

実際には、書誌レコードのあらゆるフィールドに基づきフィルタリングができるのです！

フィルタリングは、レコードの選択されたフィールドが、

指定された条件を満たすかどうかをテストする表示ルールを使用して行われます。

表示ルールは、Almaの検索バーで使えるものよりも詳細に検索を絞り込むことができます。

では、既存の表示ルールを使ってフィルタリングされたセットを作成する方法と、

独自の表示ルールを作成する方法について説明します。

フィルタリングされたタイトルセットを作成するには、目的のタイトルの検索クエリを入力します。

検索結果ページで、「**Save and Filter Query**（クエリを保存してフィルタリングする）」をクリックします。

「**Set Details**（セットの詳細）」ページで、セットに名前を付け、必要に応じてその他の詳細を入力します。

次に、「**Save and Filter**（保存してフィルタリング）」をクリックします。

これにより、フィルターセットセクションが開き、表示ルールを選択してセットをフィルタリングできるようになります。

例えば、このルールでは、

複数の050フィールドを持つレコードのみにセットを絞り込むことができます。

このルールを選択してみましょう。

このルールは041言語コードフィールドの値が「**English**（英語）」であるレコードをフィルタリングします。

「**Filter This Set**（このセットをフィルタリング）」をクリックします。

フィルタリングを確認します。

元のクエリに基づいてセットが作成されたことがわかります。

一方、**Alma**は、フィルタリングされたセットを作成するジョブも実行しています。

完了したら、ページを更新すると、フィルタリングされた新しいセットが表示されます。

これはアイテムズのセットであり、動的に更新されないことに注意してください。

「**Options**（オプション）」 > 「**Filter set**（フィルターセット）」から、いつでも元のセットに対して別のフィルタリングを実行できます。

フィルタリング済のセットのメンバーは、「**Members**（セット結果）」で表示できます。

このセットは、約**4,000**の元のクエリから約**3,000**タイトルにまで絞り込まれました。

次に、セットのフィルタリングに使用できる独自の表示ルールを作成する方法を見てみましょう。

**Alma**メタデータエディタを開きます。

ナビゲーションパネルで「**Rules**（ルール）」タブを開き、「**Indication.**（表示）」を選択します。

ここでは、**3**つのフォルダーに分割された既存の表示ルールを確認できます。

プライベートルールは、あなただけに表示される下書きです。

共有ルールは、あなたとあなたの同僚が、自分たちの機関のために作成するものです。

また、コミュニティルールは、世界中の**Alma**ユーザーのために作成されたもので、誰もが利用できます

。

新しい表示ルールを作成するには、「New（新規）」 > 「Indication（表示）」をクリックします。

ルールに名前と説明を付けます。

この例では、アラビア語のタイトルをフィルタリングします。

「rule（ルール）」タイプを選択します。

このデモでは、使いやすいフォームを使って表示ルールを作成する方法をご紹介しますが、

ドキュメントでも、強力なDroolとXSLオプションについて学ぶことができます。

「Access Level（アクセスレベル）」では、「Shared（共有）」を選択します。これを選択しないと、「Filter Set（フィルターセット）」

メニューでルールを使用できません。

「Record Type（レコードタイプ）」には「Bibliographic（書誌）」を選択し、

「Record Format（レコードフォーマット）」には「MARC21」を選択します。

「Save（保存）」をクリックします。

これで、フォームでルールを作成できるようになりました。

最初の条件を追加しましょう。

まずフィールドを選択します。

すべてのMARCフィールドが利用可能です！

この例では、041を選択します。

インジケータとサブフィールド（この場合は「a」）を指定できます。

「Done（完了）」をクリックします。

041フィールドを選択し、インジケータには任意の値（アスタリスクで示されます）を指定し、

サブフィールド「a」を選択しました。

これで、演算子（この例では**Contains Phrase**（フレーズを含む））を選択し、

目的のフレーズを入力することができます。

ここかこのプラスアイコンを使用すれば、必要に応じて条件を追加できます。

例えば、500件のメモフィールドが入力されているかどうか見てみましょう。

現在、条件は論理**And**で接続されています。

これを**Or**に変更できます。

コピーアイコンを使用して条件をコピーし、変更できます。

また、ルールグループを入れ子にして、

子グループが親グループの前に評価されるようにすることもできます。

個々の条件またはグループを削除できます。

ルールに問題がなければ、「**Save**（保存）」をクリックします。

新しい表示ルールは、**Shared**（共有）フォルダーにあります。

レコードで表示ルールをテストするには、分割モードに入ります。

そうすると、エディタの右ペインが開きます。

次にタイトルを検索します。

「**Edit Record**（レコードの編集）」をクリックします。

次に、メタデータエディタに戻ります。

ルールの再生ボタンをクリックして、レコードで試してみてください。

下部のメッセージバナーに結果が表示されます。

この場合、このレコードに対する私たちの表示ルールの評価は**false**です。

これが、フィルタリングされたタイトルのセットを作成する方法と、それらをフィルタリングするために使用される表示ルールとなります。

ご参加ありがとうございました！